

### 3. グローバル健康環境教育研究推進プログラム

本プログラムでは、グローバルな医療人としての広範かつ高度な専門性と高い使命感、領域を超えた汎用力を修得し、国際的な保健衛生・公衆衛生に指導的な立場で貢献できる高度先導的薬剤師として、文理協働による国際的な医療活動や、発展途上国における感染症予防や食・環境の安全確保、さらに国際的な保健衛生の課題解決や発展途上国での保健衛生・医療教育に貢献できる薬学研究者や薬剤師の養成を目指す。

参画大学においては、すでに第2期中期目標期間中に実施した「先導的薬剤師養成に向けた実践的アドバンスト教育プログラムの共同開発」事業ならびに、第3期中期目標期間中から引き続き実施している「高度先導的薬剤師の養成とそのグローバルな活躍を推進するアドバンスト教育研究プログラムの共同開発」事業において、6年制学部及び4年制大学院博士課程の教育研究プログラムの充実を図っており、その発展的な継続、さらにはこれらを基盤とする新たなプログラムの開発と実施が期待される。

6年制薬学部及び大学院博士課程の教育研究における「グローバル健康環境教育研究推進プログラム」については、国公立大学における豊富な国際的な教育研究交流、特に東南アジア等における感染症対策などの保健衛生・公衆衛生上の課題や環境問題、食糧問題といった健康環境に係る研究を実施している機関・大学との交流実績を基盤として実施する。本プログラムとしては、グローバルな視点での実践的なコミュニケーション能力を修得する実践的語学教育プログラム（共通）から、学部及び大学院博士課程における国際保健衛生・公衆衛生教育研究プログラムや文理協働型発展途上国健康環境インターンシッププログラムといった発展途上国を中心とした海外における教育研究活動の実施が挙げられる。後者については、SDGs達成に向けた実践的フィールドワークなどが有用である。

#### 【2024年（令和6年）度】

##### 1) 学部生、大学院生を対象としたプログラム

<富山大学>

- 1年生次 薬学概論、4年生次 薬学経済の講義の一部 (\*)
  - ・学部生を対象。公務員として活躍している薬剤師から仕事内容等の講義を受け、薬剤師が健康環境へ貢献していることを学ぶ。
- 株式会社桃谷順天館見学研修会
  - ・学部生、大学院生を対象。2024年9月5日、大阪市に本社を持つ株式会社桃谷順天館で見学研修を行った。本学から応募のあった学生から20名を選抜し、教員2名と共に研修に参加した。化粧品製造・販売企業には、薬学部卒業生や大学院修了生が多数在籍し、有機化学や製剤学などの薬学領域の知識を化粧品開発のフィールドに活かしている。化粧品の製造に関連する機器のみならず、細胞生物の分野で用いる定性・定量機器など薬学に馴染みの深い機器が備わっており、参加学生は在学中に

学ぶ学問が医薬品のみならず化粧品の研究・開発においても有用であることの理解が促された。同社では、海外の資源から優れた化粧品を開発し、国際的な市場を見出すためのグローバル事業を展開していることや、医療分野との共同研究を推進し、患者の疾患治療中のウェルビーイングを化粧品によってかなえるための研究が実施されていることを学んだ。薬学の領域の広さと国際的視点の重要性を学ぶことができた極めて有意義な研修であった。

#### <岡山大学>

##### ○ 株式会社桃谷順天館見学研修会

・学部生、大学院生を対象。2024年9月5日、大阪市に本社を持つ株式会社桃谷順天館で見学研修を行った。本学から応募のあった学生から20名を選抜し、教員2名と共に研修に参加した。化粧品製造・販売企業には、薬学部卒業生や大学院修了生が多数在籍し、有機化学や製剤学などの薬学領域の知識を化粧品開発のフィールドに活かしている。化粧品の製造に関連する機器のみならず、細胞生物の分野で用いる定性・定量機器など薬学に馴染みの深い機器が備わっており、参加学生は在学中に学ぶ学問が医薬品のみならず化粧品の研究・開発においても有用であることの理解が促された。同社では、海外の資源から優れた化粧品を開発し、国際的な市場を見出すためのグローバル事業を展開していることや、医療分野との共同研究を推進し、患者の疾患治療中のウェルビーイングを化粧品によってかなえるための研究が実施されていることを学んだ。薬学の領域の広さと国際的視点の重要性を学ぶことができた極めて有意義な研修であった。

#### <静岡県立大学>

##### ○ 薬学概論

・薬学部1年生対象の薬学概論の講義で、「健康を守る薬学（薬事行政）として行政の担当者を講師とする講義を行った。

#### <和歌山県立医科大学>

##### ○ 山東大学学生交流プログラム

・学部生を対象。2024年10月、学術交流協定を締結している山東大学から医学部・薬学部・保健看護

学部の学生10名を受け入れた。学内の医療、教育、研究関連施設での見学や研修、現地学生との交流を行った。

##### ○ 香港中文大学学生交流プログラム（招へい）

・学部生を対象。2024年5月、学術交流協定を締結している香港中文大学から10名の薬学部生を招へいし、学生交流プログラムを実施した。附属病院、学外の病院・薬局の見学、本学の学生対象の実習・演習への参加、学生企画プログラムへの参加を通して、交流を深めた。

##### ○ 香港中文大学学生交流プログラム（派遣）

・2025年3月、学術交流協定を締結している香港中文大学へ4名の薬学部生を派遣

し、学生交流プログラムを実施した。附属病院・学内施設の見学、授業への参加、学生企画プログラムへの参加を通じて、交流を深めた。